

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表:平成 31年 1月 31日

事業所名 児童発達支援センター 歩路

保護者等数(児童数) 58(60)人 回収数

割合 71%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	40	1	0	2		・療育室の広さについては、確保されています。運動遊び等は多目的室など広い部屋を使用し活動やお子さまの動きにあわせた広さを確保しています。また園庭での活動も取り入れ運動あそびも充実しています。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	35	2	1	5	・低緊張に対してどの程度見られているかまでは把握できていない。 ・専門職が在籍しているので安心して相談できる。	・保育士以外に臨床発達心理士、言語聴覚士、理学療法士を配置し、集団や個別の対応を実施しています。セラピストは同法人内にある4か所の事業所を回っていますので、登園日に必ず出勤しているとは限りませんが、週に1～3回は療育活動への参加又は個別療育を行っています。セラピストの勤務日については歩路だよりでお知らせしていますので、参考にしてください。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境*1になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	37	1	0	5		・お子さまにわかりやすい環境設定に努めています。また、障害特性に応じ、個々に適切な環境設定となっているかを職員で確認と共有しています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	41	0	0	2	・いつも清潔で安心して預けられる。	・毎日療育後に清掃、消毒を実施しています。感染症が流行する時期にはこまめに湿度・室温調整を行い感染症予防に努めています。また、活動やお子さまの動きに合わせて、広さや環境設定にも配慮しています。

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表:平成 31年 1月 31日

事業所名 児童発達支援センター 歩路 保護者等数(児童数) 58(60)人 回収数 割合 71%

適切な支援の提供	5	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画*2が作成されているか	42	0	0	1	・支援計画についてはアセスメントシートや保護者からの聞き取り等で得られたニーズや課題お子さまの状態像を把握して客観的に分析した個別支援計画作成するよう努めています。
	6	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」、「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	39	0	0	4	・細やかな支援や半年ごとの目標のおかげで目に見えて成長を感じている。家庭での困りことも軽減されている。
	7	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	40	0	0	3	・支援計画の内容は概ね6ヶ月ごとにモニタリングを実施し、お子さまの成長に合わせて支援計画を作成し療育を行っています。
	8	活動プログラム*3が固定化しないよう工夫されているか	32	3	0	8	・季節に合わせたプログラムや運動・音楽・創作を取り入れた活動を実施しています。遊びを通して様々な経験ができるよう今後も日々工夫しながら活動を提供していきます。
	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	20	7	3	13	・あまり機会はないと思う。 ・幼稚園へ通っていない為、交流はないが、療育外で接する機会はある、特に不満はない。

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表:平成 31年 1月 31日

事業所名 児童発達支援センター 歩路 保護者等数(児童数) 58(60)人 回収数 割合 71%

保護者への説明等	10	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	40	2	0	1	・利用前の見学や利用契約時に運営規定、施設の紹介や児童発達支援の内容、重要事項説明書等の内容を説明しています。不明な点があった場合は後日改めて説明させていただきますのでご連絡ください。
	11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	41	0	0	2	・個別支援計画の内容については、十分な説明を行い、同意を得た上で支援を実施しています。
	12	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング*4等)が行われているか	30	7	0	6	・平日なので参加が難しい。 ・プログラムの全てに参加することは難しいので、単発での出席が可能なものがあると嬉しい。
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	40	2	0	1	・日々の連絡帳でのやり取りや体調不良時に電話での様子伺いもあり、安心・信頼している。
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	36	5	1	1	・面談がもつとあってほしい。 ・丁寧に説明やことばかけがあり、有難い。
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	24	6	4	9	・保護者懇親会(食事会)が増えたら嬉しい。 ・運転ができない為、場所が遠かったりすると参加が難しい。
	16	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	37	4	0	2	・相談や申し入れについては迅速に対応するように努めています。また、相談内容によっては臨床発達心理士、言語聴覚士、理学療法士などとも連携を図り対応しています。
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	40	1	0	2	・連絡帳やおたより等を通して、情報伝達が正確に速やかにできるよう努めています。
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	36	2	0	5	・会報は準備しておりませんが毎月歩路だよりを発行し、活動内容や行事予定等をお知らせしています。またホームページでも研修会や合同保護者会の様子等をタイムリーに掲載しています。今回のガイドラインアンケートについても、年度内にホームページに掲載いたしますのでご覧ください。
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	41	0	0	2	・個人情報の取り扱いについては、契約時に写真掲載同意書に署名を頂いています。また年度ごとに同意書を取り直し、個人情報の取り扱いには注意を払っています。

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表:平成 31年 1月 31日

事業所名 児童発達支援センター 歩路 保護者等数(児童数) 58(60)人 回収数 _____ 割合 71%

非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	29	4	1	8	<ul style="list-style-type: none"> ・マニュアルは見たことがない。 ・緊急時に備えて今一度、連絡の取り方や引き受け等、定期的にあると安心する。 ・近辺で小屋が燃えた火事があったが、その後の対応の報告がなかった。避難指示などがあったかなど知らせてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・対応マニュアルについては、1階ホールに設置し、どなたでもご覧いただけるように昨年は近隣で火災がありましたがお子さまの登園時間や療育時間と重なっておりませんでしたので、特にご連絡はいたしませんでした。今後、緊急時や避難指示が出された場合に備えて、連絡アプリ等を使用した連絡体制等を検討しご連絡したいと思います。
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	39	0	0	4	<ul style="list-style-type: none"> ・利用日により参加できないことがある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月実施する避難訓練では、火災や地震を想定した訓練を実施していますが、利用日の関係で参加できない場合があります。避難時にどのような点に注意が必要か、お子さまへの伝え方などご不明な点があればお知らせください。
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	30	9	3	2	<ul style="list-style-type: none"> ・行事の中止や曜日等の関係で参加できないのが少し残念。 ・女の子が少ないので寂しい。 ・いつも楽しみにしている。ありがとうございます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・お子さまが楽しく通えるよう、活動内容や支援方法の工夫に努めます。お子さまの気持ちを受け止めながら、遊びを通して様々なことを学べるよう療育を行っていきます。
	23	事業所の支援に満足しているか	39	1	1	2	<ul style="list-style-type: none"> ・とても満足している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も保護者の方が気軽に相談できるような信頼関係を築けるように努めます。ご家庭や併行通園先で気になることがあれば、お気軽にご相談ください。

*1 この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすること。

*2 児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*3 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

*4 保護者が子どもの行動を観察して障がいの特性を理解したり、障がいの特性を踏まえた褒め方等を学ぶこと。子どもが適切な行動を獲得することを目標としている。